

浅野林男さんに認定証

浅野林男さん(81歳)が8020運動で福島県知事並びに福島県歯科医師会長より認定証を授与されました。8020運動とは「80歳になっても20本以上の永久歯を残そう」という運動で、厚生労働省と日本歯科医師会により平成元年から推進されています。

浅野さんは、健康を保つために自分の歯で野菜中心の食事に心がけており「自分の歯で食事を食べられるのがうれしい。特に野菜・魚などを中心に何でもおいしく食べています。また、週2回のグランドゴルフとパークゴルフを楽しんでいます。」と、笑顔で話してくれました。



収穫祭で餅つきを体験

広野小学校5年生50人は12月1日、餅つきを体験しました。総合学習事業の一環として、学校給食で地場農産物の活用について学ぶことを目的に行いました。

児童たちが、11月中旬に自分たちの手で脱穀し、収穫した水稲もち米を利用して餅つきを行い、餅つきに入る前に、児童たちは、種まきから脱穀作業までを振り返り「泥んこになった田植えが一番大変だったけど楽しかったなあ。」と感想を述べました。

当日、1年生全員も招待を受け、5年生のお兄さん、お姉さんと一緒にきねを持って餅つき体験。つきあがった餅は、きな粉餅、じゅうねん餅にいただきました。自分たちで収穫したもち米を口いっぱいにお張っていました。



▲協力してもちをつく子どもたち

みんな仲良く楽しく

生活発表会が12月11日、幼稚園で行われました。子どもたちはダンスや歌などを楽しそうに歌いました。会場では子どもたちの成長した姿をカメラにおさめようとたくさんの家族の姿が見られました。



▲決めポーズの園児たち

かわいいダンスで笑顔がきらきら輝く

クリスマスおゆうぎ会が12月3日、保育所で開かれました。かわいらしいダンスを踊る子どもたちに会場からは、たくさんの笑顔と拍手が送られていました。



▲おゆうぎ会の様子

日ごろの稽古を披露

第18回広野町生涯学習発表会が12月5日、中央体育館において開催されました。

出演団体の皆さんは、日ごろの練習の成果を發揮して、見事な演技・演奏を披露しました。

今回出演した11団体を紹介します。

- 1 広野小学校器楽部
- 2 広野紫扇会
- 3 大正琴山百合会
- 4 新舞踊「五ツ扇会」
- 5 三喜流広野実富士会
- 6 民舞踊「水扇会」
- 7 合唱団「めじろたち」広野町コーラス
- 8 広野町老人クラブ連合会体操教室
- 9 ハワイアンひろの
- 10 楽打の会
- 11 広野昇龍太鼓

これからも稽古や練習にがんばってください!



▲広野小学校器楽部の演奏



▲日ごろの稽古の成果を披露

世界に羽ばたけ



▲右から、町長、古山選手、松本選手、早坂選手

JFA アカデミー福島3選手が大会の成績や個人の今後について報告に町長室を訪れました。

2期生の松本昌也選手(富岡高校1年)は10月に行われた16歳以下のアジア大会に日本代表選手として出場し、見事、世界大会の切符を手に入れました。

松本選手は、自分の特徴を伸ばして、世界大会のメンバーに入れるよう練習したいと述べました。

1期生の古山瑛翔選手(富岡高校2年)は、フランスのチーム「ポルドー」に短期留学が決まりました。古山選手は、今までアカデミーでやってきたことをフランスでだしたいと決意を語りました。

また、JFA アカデミー福島U-15(15歳以下)が東北代表として、高円宮杯第22回全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会に出場。チームを代表して3期生の早坂武流選手(広野中学校3年生)が、前回大会の悔しさをばねに優勝するため1試合1試合戦いたいと意気込みを語りました。

リーグ戦3位を報告

東京電力女子サッカー部マリーゼが12月10日、今シーズン成績報告と町民の皆さんの応援に対する御礼に役場を訪れました。成績は昨年同様にリーグ戦3位。選手皆さんのこれまでの試合を振り返り、次に向けて活躍を誓いました。



▲更なる活躍を誓ったマリーゼ